



**JAPAN FRISBEE DOG  
ASSOCIATION**

since  
**1994**

# ロングディスタンス

日本フリスビードッグ協会 競技規定

## ロングディスタンス 競技規定

- 90 秒 1 ラウンド制。(最長距離のみ計測を行う)
- 会場の都合により異なるケースがあるが、スタートは基本的に風上からとする。コース扇型に左右均等に開けるように設定をする。コース設定によってはこの限りではない。
- スタートラインの幅は5mとし、スローイングエリアのバックヤードは最低10mを確保する。
- 計測はスローイングをした投者の体の前方スタートライン上から、キャッチ時の地面に着地したfrisbeeディスクに近い前足までとする。
- 競技犬がfrisbeeディスクを1度でも弾いた場合、その後キャッチをしても無効となり記録にはならない。
- 制限時間内であれば、何投でも行える。
- 競技には、使用frisbee(交換用含む)以外、犬を呼び寄せるモノ(フード類・玩具類など)を持ち込んではならない。(犬笛は指笛・口笛とみなし可)また、競技中のリードの使用は禁止する。
- 競技中に糞尿行為のあった場合はその段階で失格とならないが、タイマーは止めない。但し、プレイヤーは糞の処理をしてからプレーを続行すること。
- 選手と競技犬以外に補助約として1名まで認めるが、frisbeeに触れる事は出来ない